

タカラ鉄美

てつみ

すべては 沖縄のために

bd

私も応援しています！

玉城デニー	沖縄県知事
糸数 慶子	参議院議員
城間 幹子	那覇市長
山川 仁	豊見城市長
瑞慶覧長敏	南城市長
照屋 義実	沖縄県政策参与
伊波 洋一	参議院議員
赤嶺 政賢	衆議院議員
照屋 寛徳	衆議院議員
屋良 朝博	衆議院議員
稲嶺 進	前名護市長
仲里 利信	前衆議院議員
有田 芳生	立憲民主党沖縄県連代表
清水 磨男	国民民主党沖縄県連代表
瑞慶覧 功	会派おきなわ会派長
金城 徹	新しい風にぬふあぶし共同代表
垣花 豊順	琉球大学名誉教授、弁護士
比屋根照夫	琉球大学名誉教授
大城 一馬	沖縄社会大衆党委員長



高良 鉄美(たからてつみ)

琉球大学名誉教授
沖縄県憲法普及協議会会長
オール沖縄会議共同代表

1954年1月 那覇市生まれ
松川小、真和志中、那覇高卒、九州大学法学部、同大学院法学研究科修士課程、博士課程、バージニア大学ロースクール客員研究員('89~'91)、琉球大学法文学部教授('95~'04)、琉球大学法科大学院教授('04~'19)、琉球大学法科大学院院長('07~'11)、

好きな食物: ヒージャー料理、泡盛

学会・社会活動等: 東アジア共同体・琉球(沖縄)研究会共同代表、九条の会全国世話人

著書

『沖縄から見た平和憲法』未来社

『僕が帽子をかぶった理由-みんなの日本国憲法』

クリエイティブ21など

●タカラ鉄美後援会事務所●

那覇市泉崎2-3-2 HRSトラスト県庁前 2階
TEL 098-851-4160 FAX 098-851-4159

政治姿勢・基本政策

- 「建白書」の実現
オスプレイ配備撤回、米軍普天間基地の閉鎖撤去および辺野古新基地建設断念
- オール沖縄の立場で活動する
- 玉城デニー知事を国政の立場から支える
- 憲法学者として平和憲法を守り、活かす。
- 子どもの貧困問題、基地問題、所得水準等、平和的生存権、自己決定権などを国会の場で追求し、改善する。



ごあいさつ く僕が帽子をかぶった理由

はいさい ぐすーよう ちゅーうがなびら。

もう 25年前、私の学生たちの政治実習で議会へ傍聴に行ったとき、帽子を理由に入場を拒否されました。これは明治憲法下の帝国議会傍聴規則であり、戦後日本国憲法が執行された後も入室制限に関する規則はそのまま残ったものです。例えば病氣療養中の方がかぶる帽子、寒い時に着けるコートや襟巻、足が悪い方の杖、全て議長判断がないと許可されないとすると足がすくみません。傍聴を妨

げる規則は、国民の権利を妨害している。その不合理を訴えるために、私は「帽子姿」で挑むことになりました。

日米地位協定も日米合同委員会も、その経緯を国民県民には知らされませんでした。知る権利が無視された結果が、基地あるが故の事件事故や世界一危険と言われる普天間基地の存在、さらにオスプレイの強行配備など、沖縄の更なる苦しみを生んでいます。

そんな中でも翁長知事の遺志を引き継いだ玉城デニー知事の誕生、県民投票、さらに衆議院議員3



区補欠選挙で屋良朝博氏の当選で、主権者である国民（沖縄県民）は、辺野古新基地建設反対の民意を示し続けています。にもかかわらず、今もなお私たちの多額の税金を使って日本政府が新基地建設を強行することは、主権者たる国民を蔑ろにしています。

私たち沖縄は、何度でも民意を示さなければなりません。沖縄の未来のために、私、タカラ鉄美は、全力で頑張ります。

みんなで心一つに、ヌチカジリ頑張りますよ！
ゆたさるぐとう うにげーさびら。